

報道関係各位

2017年1月30日
学校法人成城学園

今年、創立 100 周年を迎える成城学園が **1928 年（昭和 3 年）**から取り組んでいる 「**スキー学校（初等学校）**」を長野県で実施 ～4・5・6 年生が人間関係を育む異年齢交流活動～

学校法人成城学園（東京都世田谷区 理事長：渡 文明）は、初等学校の校外教育として、1928 年（昭和 3 年）から続く「スキー学校」を長野県で実施いたします。今年は 1 月 30 日（月）から 2 月 3 日（金）（4 泊 5 日）の日程で行います。

成城学園「スキー学校」の歴史において、1930 年（昭和 5 年）には、「世界で一番スキーの上手な先生にスキーを教わりたい」という生徒の一言で、オーストリア国立スキー学校のスキー界の第一人者アルペンスキーの父として知られるハンネス・シュナイダー氏を招聘しました。以後、1985 年にスキー学校は学校行事として授業時数にカウントされて全員参加となり、現在の異年齢集団によるスキー学校は、2007 年から実施しています。

【4 年生・5 年生・6 年生の異年齢集団によるスキー学校】

本校のスキー学校は、単にスキーの技術を習得する場ではなく、人間関係の充実を図る「つながりの（縦）の時間[※]－異年齢交流活動の時間」の一環であり、4 年生・5 年生・6 年生の各学年 1 クラスずつがグループをつくり、3 学年が 3 つのグループに分かれて集団生活を送ることで、異学年との人間関係を築き、交流を深める場です。親元を離れ、日常の学校生活では味わえない貴重な体験を通じて自立を促し、多くの事を学ぶ場になります。



【過去のスキー学校の様子】

※成城学園初等学校では、「つながり（縦）の時間－異学年交流の活動」を行っています。1 年生から 6 年生までが 1 人ずつのメンバーによるユニットを作り、ユニットでの活動を通して、異学年の人間関係を築きます。上級生がリーダーとなり、一緒にあそんだり、ゲームをしたり、勉強する中で、人間関係を深めるための活動です。